

# 第73回全日本鍼灸学会学術大会 宮城大会準備レポート No.2

発行：2022年10月31日

第73回 公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会 宮城大会

副会頭（東北支部長） 中沢良平

## 第2回企画調整委員会が開催されました



左の写真は、大会会場に隣接する国際センター駅です。国際センター駅へはJR仙台駅から地下鉄東西線に乗り5分ほどで到着します。とてもアクセスが良いので、当日会場参加される方には便利な環境です。近くには伊達政宗公の騎馬像がある仙台城跡があります。

駅前には宮城県出身のフィギュアスケート選手の羽生結弦さんや荒川静香さんの大きな写真が飾られています。

## 東北支部の皆様 第73回宮城大会準備レポートをお届けします

猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症ですが少し落ち着きを見せ、外国からの観光客も来日し、政府の旅行支援も始まりました。そのような中、10月23日に第2回企画調整委員会が仙台国際センターで開催されました。今回も会場とオンラインと



のハイブリッド開催となり、便利な時代になったと感じます。

今回の会議から運営補助業務される会社として「東北共立」の職員の方も参加されました。大会のメインテーマも決まり、穴戸新一郎先生が委員長を務められますプログラム委員会もクラウドを使って企画立案作業が始まりました。東北、宮城から全国に発信できるようなものを実現したいと企画調整委員一同奮闘しています。会員の皆様、東北の鍼灸振興発展にお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

大会期日：2024年5月24日（金）～26日（日）

大会会場：仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

大会テーマ：「つながり、通じ、いかす鍼灸」

大会会頭：高山真（東北大学大学院医学系研究科 漢方・統合医療学共同研究講座 特命教授）

実行委員長：三瓶真一（三瓶鍼療院 院長）

第73回全日本鍼灸学会学術大会 宮城大会準備レポート No.2